



ヤングリーダーズ同窓生

日独の一流大学以外にも以下の研究機関、企業、省庁、団体所属のヤングリーダーズが過年度に参加しました(ドイツ名アルファベット順)：

エアバス・ジャパン株式会社、朝日新聞社、ドイツ財界アジア太平洋委員会、日本銀行、ベルリン社会科学研究所、コムツ銀行、大同生命保険株式会社、株社会社D Bモビリティロジスティクス、ルフトハンザドイツ航空株式会社、ドイツポストDHL、ドイツ国際協力公社、ドイツ連邦外務省、日立製作所、日本国際交流基金、日本国経済産業省、時事通信社、メルク社、三菱ふそうトラック・バス株式会社、三菱総合研究所、三井物産、ミュンヘン再保険会社、ミュンヘン安全保障会議、パナソニック株式会社、独立行政法人理化学研究所、シーメンス株式会社、フォルクスワーゲングループ、ディー・ツァイト(新聞社)、他

お問い合わせ

German-Japanese Young Leaders Forum
日独ヤングリーダーズ・フォーラム

Sven TRASCHEWSKI スヴェン・トゥラシェフスキ

Japanese-German Center Berlin (JDZB)

ベルリン日独センター

Saargemuender Str. 2

14195 Berlin, Germany

Tel. +49 (0)30 839 07 150, Fax +49 (0)30 839 07 220

straschewski@jdzbd.de

www.jdzbd.de

»2015年のヤングリーダーズ・フォーラムで得た経験は、現在・そして将来の私自身のキャリアにとって、非常に大きな財産になっています。普段では知りあうことのない多様な背景を持つメンバーとの濃いディスカッションを通じて、日独の文化・歴史・考え方の違い、ダイバーシティと相互理解の重要性など、改めて非常に多くの事を学びました。

毎年開催されるアラムナイ・ミーティング(同窓生大会)でも、仲間と再会を喜び合うとともに、グローバルな重要課題を議論することで、常に新鮮で広い視野の気づきを得られます。«

神澤太郎、2015年参加者
シーメンス株式会社

写真提供

表紙写真: ベルリン日独センター

メルケル写真: ドイツ連邦政府/KUGLER

グループ写真: 在独日本国大使館



日独ヤングリーダーズ・フォーラム



METZLER
B. Metzler seel, Sohn & Co.





日独ヤングリーダーズ・フォーラムは、日本とドイツの将来を担う若手指導者や次世代幹部候補者のネットワーキングの場として、ベルリン日独センターとロバート・ボッシュ財団が協力して2006年に立ち上げました。

フォーラムの目的

日独ヤングリーダーズ・フォーラムは未来を志向し、日本とドイツのヤングリーダーズに社会的・政治的に重要な見識を身につけてもらうと同時に次世代に向けた持続可能な日独ネットワークを構築すべく、毎年サマースクールを開催しています。

サマースクールのプログラム構成

隔年交代で日本またはドイツで開催されるサマースクールには、その年のテーマを専門とする有識者をスピーカーに招き、多くの時間を緊密な議論に充てます。また、政界要人との面談や、開催国の代表的な機関や企業の視察訪問、文化プログラムも盛り込まれています。

対象者

政官産学およびマスコミなど民間・公的機関の幹部層の推薦により、特に将来性の高いヤングリーダーズ(25歳から35歳)を日独各々8名募ります。ヤングリーダーズには英語での高いコミュニケーション能力が求められます。

»刺激的なテーマを深く掘り下げ学際的に考察することができたヤングリーダーズ・フォーラムは素晴らしい機会でした。なかでもオープンで活発な議論と高いレベルの専門知識を享受できたことが特に嬉しかったです。本フォーラムを通じて得た人脈は生涯の糧となるでしょう。«

エリーゼ・グラウア (Dr.)、2015年参加者
ドイツ連邦教育研究省

主催機関、資金拠出機関

フォーラムの企画運営はベルリン日独センターが担当し、2018年は持株会社B・メッツラー・ゼール・ゾーン&Co.ホールディング、ニュルンベルク保険グループ、一般財団法人山岡記念財団、ヤンマーホールディングス株式会社、ユアサM & B株式会社(以上ドイツ名アルファベット順)の資金提供を得て実施いたします。プログラムに関わる基本的な諸経費(旅費、宿泊費、食費、市内交通費等)はすべて支給されます。

ベルリン日独センターは科学技術および文化の分野における日独関係および国際関係の強化を目的に1985年に創設された非営利財団で、日独両国外務省およびベルリン州政府の支援を受けて運営されています。

ヤングリーダーズ・フォーラム同窓会

2011年に、それまでのサマースクール参加者(同窓生)が集まり、自ら積極的にフォーラムに貢献し、その持続可能性を担保する目的でヤングリーダーズ・フォーラム同窓会(ドイツ民法に基づく登記社団)を立ち上げました。フォーラムに対する同窓生のコミットメントは、サマースクールで築かれた人脈の持続性の証でもあります。

日独両国の若手リーダーである参加者がともに学び、意見交換をし、相互の信頼関係を構築していくことができるこのプログラムは、大変貴重なものであると考えます。近年、さまざまな危機、多くの不安定要因が存在するなかで、基本的価値を共有する日独両国の良好な関係の更なる強化は、両国のみならず、地域や世界にとって大きな意義を有するものです。参加者の皆さんには、今回の経験をもとに、将来、両国において日独関係の発展の担い手となってくださることを願っております。



八木 毅 駐独日本国大使

日独ヤングリーダーズ・フォーラムは日本とドイツの緊密な絆の継続的な活性化を促す貴重なプログラムです。本フォーラムでは日独からさまざまな分野で活躍する未来の指導者達を招き、グローバルな課題を考え、各々の視点を分かち合うことで、未来への共通の展望を發展させてゆき、経済、安全保障政策、少子高齢化といった現今の課題に協力して対処する新しいアイデアを共同で練り上げます。毎年の参加者の間に培われる深い相互理解および友情は、同窓生の継続的な活動とも相まって、両国の架け橋となる新しい世代を育成し、新鮮な発想をもたらず礎となっています。



ハンス＝カール・フォン＝ヴェアテルン
駐日ドイツ連邦共和国大使